

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第121回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第122回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第48回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第123回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

◇日本惑星科学会第121回運営委員会議事録

日 時：2017年9月13日(木)15:00 - 17:00

場 所：TV会議

運営委員：

出席者 15名

荒川 政彦, 中本 泰史, 中村 昭子, 渡邊 誠一郎, 千秋 博紀, 和田 浩二, 生駒 大洋, 諸田 智克,
林 祥介, はしもと じょーじ, 竹広 真一, 中島 健介, 寺田 直樹, 佐伯 和人, 上野 宗孝

欠席者 8名

倉本 圭, 田近 英一, 平田 成, 田中 智, 中村 智樹, 藪田 ひかる, 小久保 英一郎, 橘 省吾
(委任状：議長5通)

議 題：

1. 将来惑星探査検討委員会設置について(将来惑星探査検討グループ)

- ・千秋将来惑星探査検討グループ長から専門委員会化についての提案があった。
- ・RFIへの回答文書やロードマップの改定が必要ときには、新たな作業部会をおく。
- ・将来計画専門委員会との担当がボーダーな作業に関しては、今後、様子を見ながら作業を割り振る。
- ・名称は「惑星探査専門委員会」とする。
- ・委員会の設置が承認された。
- ・会長から委員長は千秋博紀が選任された。
- ・委員は下記が選出され、承認された。

田中智(宇宙科学研究所)

大竹真紀子(宇宙科学研究所)

寺田直樹(東北大学)

佐伯和人(大阪大学)

関根康人(東京大学)

2. RFI改定作業について(将来惑星探査検討グループ)

- ・千秋将来惑星探査検討グループ長からRFI文書の改定が提案された。

- ・ 部会の設置を提案され、承認された。
- ・ 寺田会員を中心にsgepssとの連携を行う。
- ・ 体制については次回の運営委員会で承認する。
- ・ 次回の総会で活動について説明予定である。
- ・ 部会委員の公募も行う予定である。

3. EPS分担金について(欧文誌専門委員会)

- ・ 生駒欧文誌専門委員会委員長より現状の説明があった。
(経緯は第119, 120回運営委員会議事録を参照)
- ・ 来年度、科研費が採択されなかった場合を想定して分担金が算出されている。個人会員数×和文誌計数により算出している。
- ・ 投稿料の値上げも検討している。
- ・ 移行期間に必要となる分担金の増分は現在の分担金に係数をかけたものにすべきとの意見がでた。
- ・ EPSを維持することのメリットとデメリットを勘案して、EPSから抜けることも考えるべきとの意見がでた。

4. シニア会員制度について(将来計画専門委員会)

- ・ 中村将来計画専門委員会委員長より現状の検討状況について説明があった。(これまでの議論の詳細は第120回運営委員会の議事録を参照)
- ・ 終身会員制度の検討を行っている。

5. 運営委員の改選に関して(将来計画専門委員会)

- ・ 中村将来計画専門委員会委員長より、運営委員会メンバーのリフレッシュを促すために多選を妨げる規則を追加することが提案された。
- ・ 過去3期にわたり運営委員会の構成メンバーであった会員は運営委員の被選挙人名簿から外れる規則の追加が提案され、承認された。
- ・ 次回運営委員会で役員選挙規定の改定案を。
- ・ 次回の総会で会員に意見を求め、次々回の総会で承認を得ることとする。

6. パルスパワー科学研究所の共同研究拠点申請への要望書について(衝突研究会)

- ・ 熊本大学のパルスパワー科学研究所から衝突研究会へ応援の要望書を出して欲しいとの依頼があった。荒川衝突研究会世話人より要望書を提出することとしたいとの提案があり、承認された。

7. 国際宇宙探査専門委員会について(荒川会長)

- ・ 荒川会長より国際宇宙探査専門委員会で説明された月探査のシナリオについて説明された。
- ・ SELENE-R, HLEPP(Human Lunar Exploration Precursor Program)で資源探査・技術探査への科学的な貢献がコミュニティに期待されている。
- ・ 佐伯委員、千秋将来惑星探査検討グループ長らがサポートし、RFIの記載を踏まえ意見をまとめる。

8. 用語研究会設置要望書について

- ・ 天体名称についての研究とその成果の発信については科学的意義が認められるが、強制力があるとの認識については多くの反対意見が出た。
- ・ 運営委員からの意見を踏まえ回答案をまとめることとなった。

9. その他

- ・荒川会長より連合の代議員選挙について案内があった。

◇日本惑星科学会第122回運営委員会議事録

日 時：2017年9月27日(水)18:20 - 21:00

場 所：大阪大学豊中キャンパス 理学研究科F棟 F313

運営委員会委員：

出席者 18名

荒川 政彦, 倉本 圭, 中本 泰史, 中村 昭子, 渡邊 誠一郎, 千秋 博紀, 田近 英一, 生駒 大洋, 諸田 智克, 林 祥介, 平田 成, 竹広 真一, 中島 健介, 田中 智, 寺田 直樹, 佐伯 和人, 上野 宗孝, 藪田 ひかる

欠席者 5名

和田 浩二, はしもと じょーじ, 中村 智樹, 小久保 英一郎, 橘 省吾
(委任状：議長4通)

オブザーバー：

春山 純一 会員

門野 敏彦 学会賞選考委員長

関口 朋彦 2018年秋季講演会組織委員長

議題・報告事項：

1. 国際宇宙探査専門委員会の設置について(春山会員)

- ・春山会員から委員会の設置の経緯と役割・具体的なタスクについて説明があった。
- ・国際宇宙探査推進チームへの科学的な提言するための専門機関として理学・工学委員会の下に設置された。
- ・荒川会長も委員として参加している。

2. 第1回, 第2回国際宇宙探査専門委員会の報告(荒川会長)

- ・荒川会長よりこれまでの専門委員会の議論の内容が報告された。
- ・SELENE-Rに対する荒川会長のスタンスについて説明があった。
- ・シンポジウムなどを開催し多様な意見を集めることとする。

3. 会計第14期上期中間報告(竹広財務専門委員長)

- ・竹広財務専門委員長から会計第14期上期中間報告があった。
- ・順調に執行している。

4. 会計第14期下期予算案(竹広財務専門委員長)

- ・竹広財務専門委員長から会計第14期下期予算案について報告があった。
- ・EPS分担金の増加の可能性がある。増加分は予備費として計上している。
- ・予算赤字, 決算黒字を解消するために遊星人印刷費を例年の180万から150万と減額した。編集専門委員会とは合意している。

- ・ 72万円の赤字(昨年予算より13万円赤字増).
- ・ 寄付金で若手育成などに当てられないか、財務を中心に検討する.
- ・ 賛助会員を増やす努力をする. 宣伝が足りないと思われる.

5. EPS分担金について(生駒欧文誌専門委員長)

- ・ 荒川会長より10月初めに5学会長会議があり、EPSについて議論予定であることが報告された.
- ・ 生駒欧文誌専門委員長より現状の説明があった.
- ・ 科研費が切れることへの緊急措置、学会間の均等化が増額の目的である.
- ・ 均衡をとることについては学会間の覚書に基づいている.
- ・ どのような基準で均衡と考えるかについての交渉の余地がある.
- ・ これまでの経緯を踏まえての均衡化が必要である.
- ・ 惑星科学会としては48万への増額は出せないと伝える.
- ・ 27万円までは会長の判断で了承して良い旨、合意された.

6. 自然災害に伴う会費免除措置等について(竹広財務専門委員長)

- ・ 今年度も免除措置を実施する.

7. 運営委員の改選に関して(中村将来計画専門委員長)

- ・ 前回の運営委員会で承認された、多選禁止について再度説明があった.

8. 役員選挙規定改定案(諸田総務専門委員長)

- ・ 改定案について議論した. 告示日の時点で正会員であるものを選挙人、被選挙人の資格とする. 告示日以降に入会が認められた会員には入会時に選挙人、被選挙人になれないことを伝えることで対応する.
- ・ 会則の修正と合わせて、春の総会で改定案を会員に提示できるように進める.
- ・ 総会では、運営委員会で多選禁止が承認されたこと、会則、選挙規定を改定することを報告し、会員から意見を求める.
- ・ omlにより本件について周知し、1~2か月程度steeringへ意見を求めることにする.

9. 入退会について(諸田総務専門委員長)

- ・ 諸田総務専門委員長より会員数の報告があった.
- ・ 非会員の承認手順について、入退会担当が手作業で行なっているメール送信は省略することとなった.
- ・ 佐伯委員から、退会者の意見が紹介された. 理学・工学者が参加している学会がある中で、惑星科学会は少数の理学者が運営していることで魅力を感じないためである、とのこと.
- ・ 多選禁止により、より広い会員からの意見が反映できるようにする予定である.
- ・ 工学とのセッションを積極的に進めては、との意見がでた.
- ・ 今後、秋季講演会でセッション提案を受け付けることを含めて行事部会で検討する.

10. その他総務からの案件(議長・書記等)(諸田総務専門委員長)

- ・ 総会の議長として、濱野景子会員、書記として、山本幸生会員が推薦されることとなった.

11. RFI改定作業のための部会設置について(千秋惑星探査専門委員長)

- ・主査を東工大の臼井会員にお願いした。
- ・前回のRFIを基にして、1月末までにJAXAに提出できるように進める。
- ・委員は応募している。10/13締め切り。その後、委員を運営委員会で承認を得る。

12. 遊星人の発行状況報告(和田編集専門委員長)(メール報告)

- ・遊星人はつつがなく発行されている。とくに秋季講演会プログラムが掲載されている最新号(9月号)は三浦編集幹事の尽力と印刷所・事務局のご協力により、秋季講演会開催前に、会員の手元に届けることができた。
- ・J-STAGE上での公開作業も粛々と進めている。2011年以降の記事はすでにJ-STAGEにて公開中。それより過去(2010年と、それ以前)のものは、査読の有無が確認できないので、J-STAGEでの掲載予定は今のところないが、何らかの方法で確認でき次第掲載することとする。
- ・国立情報研究所から頂いた過去記事のPDF版も順次学会サイトへ掲載予定である。現在、掲載担当者を検討中。

13. 2017年秋季講演会報告(佐伯2017年秋季講演会組織委員)

- ・秋季講演会の参加者についての報告があった。
- ・通常参加197名+無料参加30名で、初日終了時点で227名の参加者があった。

14. 日本地球惑星科学連合の報告(田近対外協力・連携専門委員長)

- ・代議員選挙が始まる。
- ・2020年大会はAGUジョイント大会となった。
- ・フェローの募集がある。

15. 2018年秋季講演会実施案(関口2018年秋季講演会組織委員長)

- ・2018/10/16-19を予定している。
- ・会場は旭川市科学館サイパルを予定している。
- ・一般講演会すれば会場費は無料となる見込みである。

16. 最優秀発表賞受賞者の決定(門野学会賞選考委員長)

- ・門野学会賞選考委員長から、選考委員での議論の経緯を含めて説明があり、野津翔太会員が推薦され、承認された。

17. 用語研究会設置要望書について

- ・前回の申請時に回答した内容が今回の要望書に十分に反映されていない。
- ・これを踏まえ回答案をまとめることとなった。

◇日本惑星科学会第48回総会議事録

日 時：2017年9月28日(木)16:40-18:00

場 所：大阪大学豊中キャンパス 理学研究科J棟 南部陽一郎ホール
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1

正 会 員：614

定 足 数：62

参加人数：102名(開会時)(これに加えて非会員の傍聴者6名)

>106名(議事3.1採択時)>106名(議事3.2採択時)

委 任 状：112(ただし、内0通分は提出者が総会に参加したため無効)

議 長：109通

佐々木晶会員：2通

林祥介会員：1通

1. 開会宣言

諸田総務専門委員長が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に濱野景子会員、書記に山本幸生会員が選出された。

3. 議 事

3.1. 第14期上期(2017年度)中間報告

3.1.1 会計報告(竹広財務専門委員長)

特に問題なく順調であったことが報告された。

3.1.2 各種専門委員会報告

・運営委員の改選に関して(中村将来計画専門委員長)

委員の再任を妨げる規則を設ける提案について、他の学会の例、想定される質問に対して報告された。

・会則・役員選挙規定の改定(諸田総務専門委員長)

改選についてomlで意見を集う予定であることが報告された。

・質疑応答及び討論

適用時期は、次の選挙から適用可能なよう準備を進める。

・惑星探査専門委員会の設置とRFI改定作業について(千秋惑星探査専門委員長)

惑星探査専門委員会の設置が運営委員会で承認されたことが報告された。RFI回答文書とは、2014年にJAXAから発出された情報提供の依頼に対して、惑星科学会長の諮問委員会で作成した回答である。回答から3年近く経つ現在、現状に合う形で改定を行う予定であることが報告された。10/13(金)までにRFI改定作業チームに参加したい人は連絡する旨報告された。

・質疑応答及び討論

公募型小型の応募(1月末)について、公募書類にRFI文書を引用できるよう進める必要があるが間に合うかという質問に対して、RFI文書は12月末に改定作業チームで作成を行い、1月中旬にJAXAに提出する予定である旨報告された。

・採択

第14期上期活動報告の採択が行われ、賛成：218(うち出席者106)、反対：0、保留：0により採択された。

3.2. 第14期下期(2018年度)予算案

・説明(竹広財務専門委員長)

遊星人の印刷費の減額(180⇒150万円)、原稿起こし+カラーページの増額(15⇒30万円)の再査定を行い、トータル15万円の減額とした。一方EPS分担金増加の可能性(最大47.6万円)が発生しており、予算は例年通り20万円とし、残る28万円を予備費として計上した。提案予算としては約72万円の赤字となり、昨年度より13万円赤字が増加した。

これに対し「会費の維持」「賛助会員の増加」「EPS分担金増額に対する交渉」の努力を進めていく予定である。寄付金の案もあるが用途を明確にするなど議論を深める必要がある。

・質疑応答及び討論

「秋季講演会への予算が減額されているが問題はないか?」という質問に対して「秋季講演会に関しては秋季講演会の中で閉じた会計となっておりLOCの意向を反映している」と回答された。

・採択

第14期上期予算案の採択が行われ、賛成：217(うち出席者105)、反対：0、保留：1により採択された。

4. 報告事項

4.1. 自然災害に伴う会費免除措置について(竹広財務専門委員長)

自然災害で「災害救助法適用地域」に該当される方へ周知する旨を報告された。

4.2. 学会賞授賞式：2016年度最優秀研究者賞および2017年度最優秀発表賞(門野学会賞選考委員長)

9名の方々が午前中に口頭発表、午後にポスター発表が行われ、選考委員8名で慎重に審査した結果、最優秀発表賞に京都大学の野津翔太会員が選ばれた。また、最優秀研究者賞に国立天文台の秋山永治会員が受賞したことが報告された。

4.3. 2017年秋季講演会の報告(佐々木2017年秋季講演会組織委員長)

LOCの皆様への感謝と、第1回惑星科学会秋季講演会(1993年)が実は阪大で行われた驚愕の事実を報告された。講演会及び懇親会の参加人数、9/30(土)に開催される「月の科学の最前線」のアナウンスがなされた。

4.4. 2018年秋季講演会の案内(関口2018年秋季講演会組織委員長)

来年度の秋季講演会2018年10/16(水)から10/19(金)の間、旭川市科学館サイバルで実施予定である旨の報告がなされた。

4.5. 国際宇宙探査専門委員会の設置について(春山会員)

政策レベルで有人宇宙探査に関する対話が進められている。宇宙科学コミュニティとして科学情報の助言・提言、探査情報の共有を行うことの必要性についての報告がなされた。国際宇宙探査の実施する科学とそれを可能にする技術シナリオにコミュニティの意見を反映する必要がある。

4.6. その他

宇宙惑星科学セッションでの代議員選挙があるため、投票を促進する旨の報告がなされた。

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

◇日本惑星科学会第123回運営委員会議事録

日 時：2017年10月18日(水)～10月24日(火)

議 題：RFI回答文書改訂作業部会委員と総務専門委員、情報化専門委員の新任の承認

運営委員会委員：

出席者 22名

荒川 政彦, 倉本 圭, 中本 泰史, 中村 昭子, 渡邊 誠一郎, 千秋 博紀, 和田 浩二, 田近 英一, 生駒 大洋,
諸田 智克, 林 祥介, 平田 成, はしもと じょーじ, 竹広 真一, 中島 健介, 寺田 直樹, 佐伯 和人,
中村 智樹, 上野 宗孝, 藪田 ひかる, 小久保 英一郎, 橘 省吾

欠席者 1名

田中 智

成立条件：期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす

議決方法：上記期間内にe-mailにより投票

議題1. RFI回答文書改訂作業部会の活動期間と委員の承認

作業部会の活動期間は2018年3月までとする。

●作業部会長

千秋博紀(千葉工業大学)

●主査 臼井寛裕(東工大 ELSI)

●作業部会メンバ：

山岸明彦(東京薬科大), 春山純一(ISAS/JAXA), 生駒大洋(東大), 倉本圭(北海道大学),
諸田智克(名古屋大), 古川善博(東北大), 藪田ひかる(広島大学), 伊藤元雄(JAMSTEC), 亀田真吾(立教大学),
藤田和央(JAXA), 小河正基(東大), 癸生川陽子(横浜国立大学), 笠原慧(東京大学), 吉岡和夫(東京大学),
吉田二美(千葉工大), 岡田達明(ISAS/JAXA), 岩田隆浩(ISAS/JAXA), 村上英記(高知大),
北里宏平(会津大学), 玄田英典(東工大 ELSI), 鎌田俊一(北海道大学), 渡邊誠一郎(名古屋大学),
大竹真紀子(ISAS/JAXA), 田中智(ISAS/JAXA), 佐伯和人(大阪大学), 寺田直樹(東北大学),
関根康人(東京大学)

議題は承認された(可22, 否0)。

議題2. 総務専門委員の新任の承認

北里宏平(会津大学)

議題は承認された(可22, 否0)。

議題3. 情報化専門委員の新任の承認

北里宏平(会津大学)

議題は承認された(可22, 否0)。

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2017年12月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。（五十音順）

有限会社テラパブ
Exelis VIS株式会社